

神津島の火山活動解説資料（平成 29 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

神津島付近を震源とする火山性地震は少なく、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ~ ）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

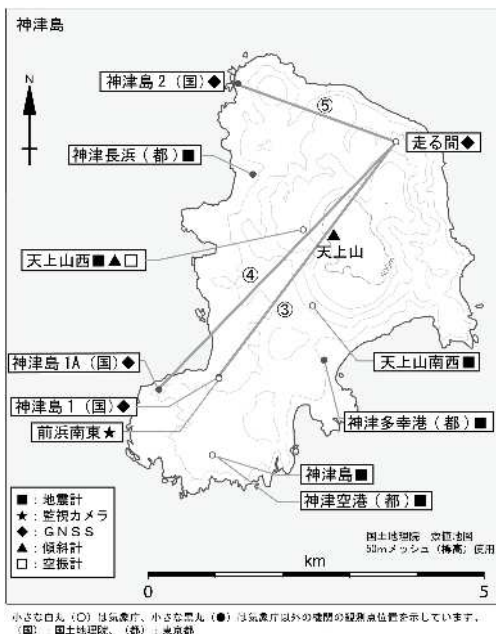


図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 3 の ~ に対応しています。
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況
（7 月 7 日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 8 月分）は平成 29 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日(観測開始) ~ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
BH型地震	
初期	2010年8月2日~2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日~ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

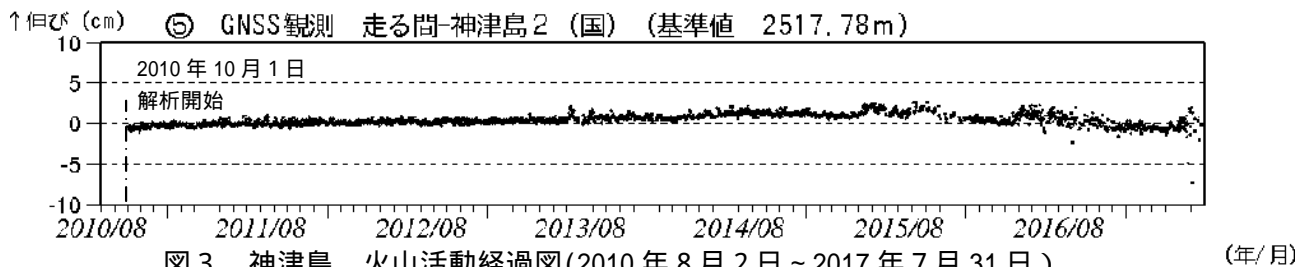
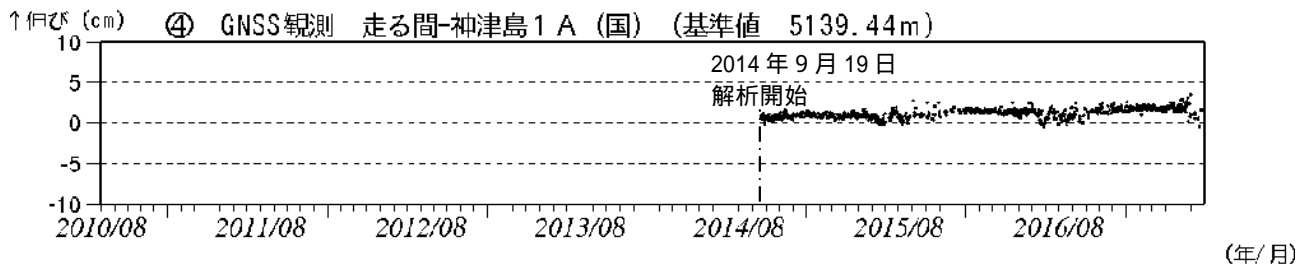
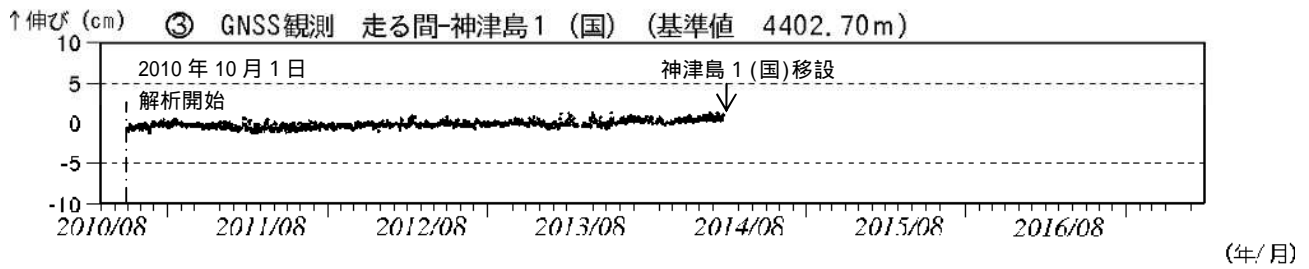
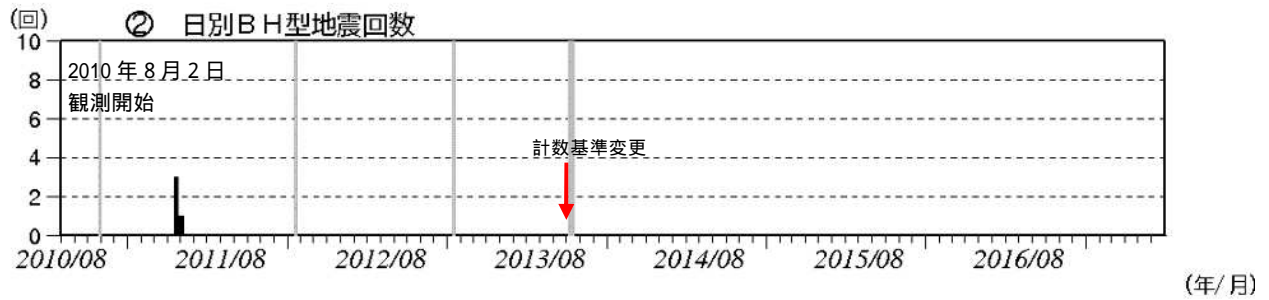
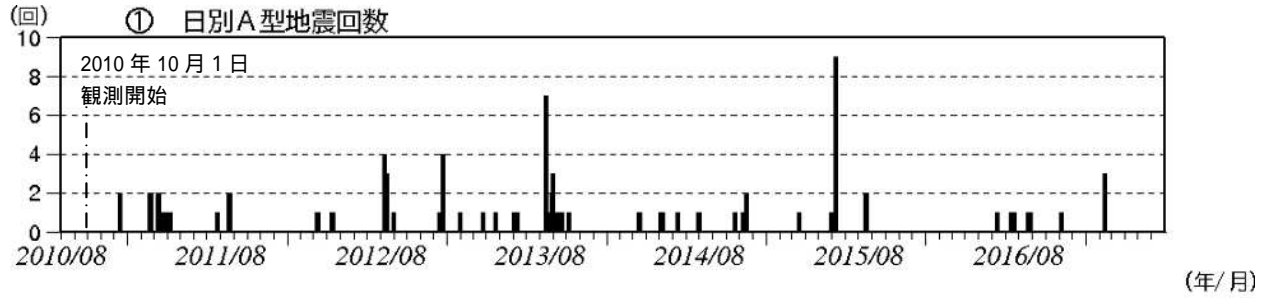


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日~2017年7月31日)

- ~ 神津島周辺の日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ~ GNSS連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院
- ・ ~ は図1のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。
- ・ 神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設しました。

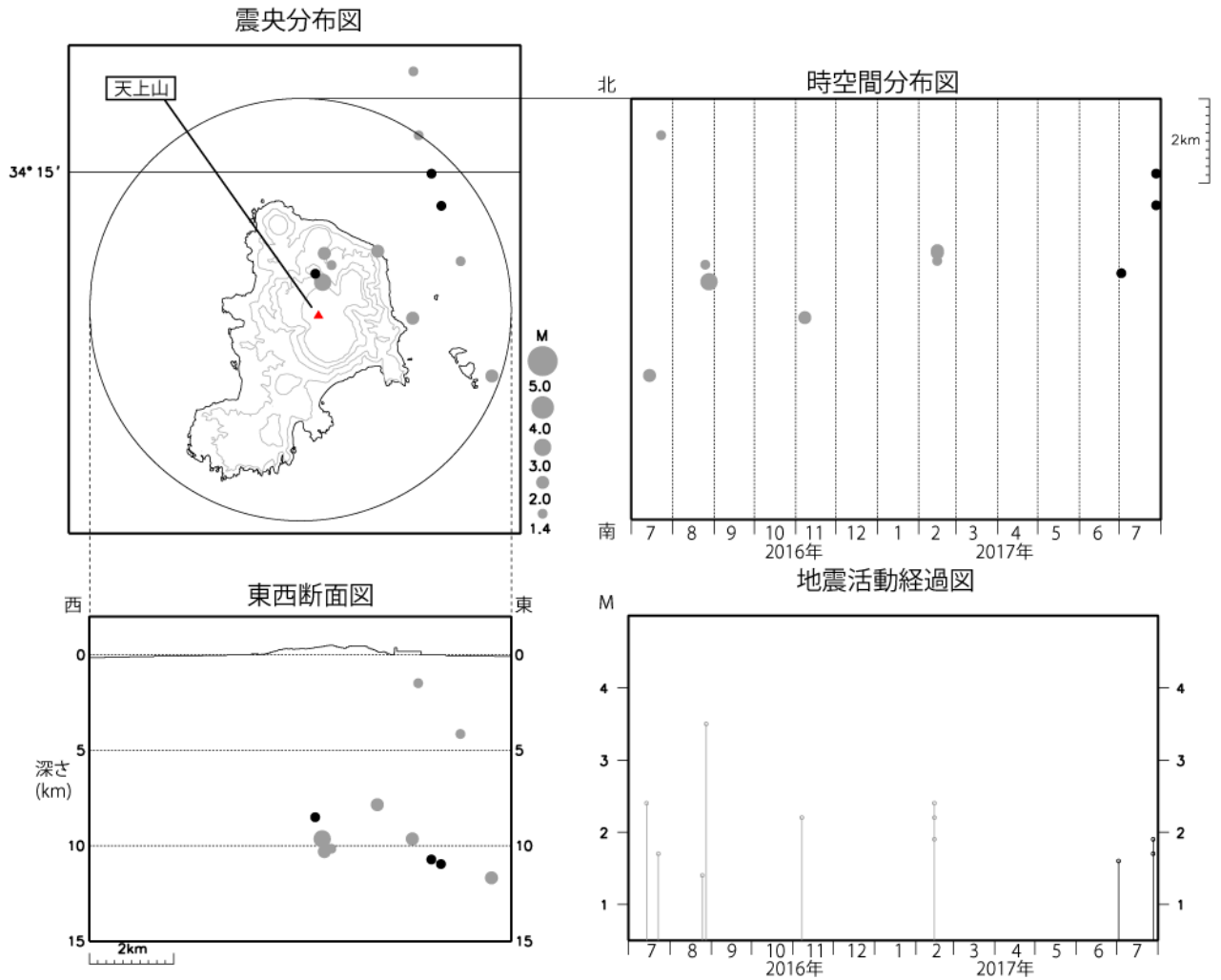


図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年7月1日~2017年7月31日)
 : 2016年7月1日~2017年6月30日 : 2017年7月1日~7月31日

- ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象(天上山西から半径5km、深さ15km以内)の範囲を示しています。
- ・今期間、神津島の山体及びその周辺に震源が求まる地震は少なく、地震活動は静穏に経過しています。